

会 議 録

会 議 名	令和3年度第1回野田市児童福祉審議会																
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	<p>[議題]</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について</p> <p>(2) 野田市エンゼルプラン第5期計画の進捗状況について</p> <p>(3) 野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン第4次改訂版の進捗状況について</p> <p>(4) 子ども館整備の進捗状況について</p> <p>(5) 待機児童・保留者解消野田市計画と保育量について</p> <p>(6) 子どもの安心生活推進委員会及び子ども家庭総合支援拠点機能充実専門委員の設置について</p> <p>(7) コロナ禍における子育て世帯に対する市独自の給付金について</p> <p>(8) 保育施設の確認にかかる利用定員の設定・変更について</p>																
日 時	令和3年8月20日(金) (書面による審議を行った日)																
書面による審議を行った委員の氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">川鍋 友江</td> <td style="width: 50%;">渡辺 隆</td> </tr> <tr> <td>森田 邦子</td> <td>篠塚 功</td> </tr> <tr> <td>須賀 千尋</td> <td>鈴木 明日香</td> </tr> <tr> <td>渡邊 理絵</td> <td>茂木 泉</td> </tr> <tr> <td>岡田 一芳</td> <td>小倉 幸雄</td> </tr> <tr> <td>荒巻 幸子</td> <td>古屋 真由美</td> </tr> <tr> <td>山田 典子</td> <td>古橋 和夫</td> </tr> <tr> <td>香山 啓</td> <td>渡辺 直</td> </tr> </table>	川鍋 友江	渡辺 隆	森田 邦子	篠塚 功	須賀 千尋	鈴木 明日香	渡邊 理絵	茂木 泉	岡田 一芳	小倉 幸雄	荒巻 幸子	古屋 真由美	山田 典子	古橋 和夫	香山 啓	渡辺 直
川鍋 友江	渡辺 隆																
森田 邦子	篠塚 功																
須賀 千尋	鈴木 明日香																
渡邊 理絵	茂木 泉																
岡田 一芳	小倉 幸雄																
荒巻 幸子	古屋 真由美																
山田 典子	古橋 和夫																
香山 啓	渡辺 直																

	土屋 孝之 菊地 広子 福井 芳枝						
議 事	<p>第1回野田市児童福祉審議会の開催は、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面による審議としました。</p> <p>【発 送 日】令和3年7月30日（金） 【回 答 締 切 日】令和3年8月20日（金） 【とりまとめの日】令和3年8月20日（金）</p> <p>議題1 会長及び副会長の選任について</p> <table border="1" data-bbox="576 797 1355 925"> <thead> <tr> <th data-bbox="576 797 836 860">承認する</th> <th data-bbox="836 797 1094 860">承認しない</th> <th data-bbox="1094 797 1355 860">未回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="576 860 836 925" style="text-align: center;">19名</td> <td data-bbox="836 860 1094 925" style="text-align: center;">0名</td> <td data-bbox="1094 860 1355 925" style="text-align: center;">1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の結果から、原案のとおり承認とする。</p> <p>【委員からの意見】 特になし</p> <p>【その他感想等】 特になし</p> <p>議題2 野田市エンゼルプラン第5期計画の進捗状況について</p> <p>報告を受ける。</p> <p>【委員からの意見】 ○茂木委員 野田市の保育士への処遇改善措置、宿舍借上費、通勤補助など、人材確保のために多額の助成金が充てられている。市の保育士が不足しているからと言って、</p>	承認する	承認しない	未回答	19名	0名	1名
承認する	承認しない	未回答					
19名	0名	1名					

市に就職を勧誘することは良いが、私立幼稚園も同様に苦しんでいる。私立幼稚園も市の子どもたちのために必死に努力していることを忘れないでほしい。予算が保育士に片寄っているのは理解に苦しむ。公金として公平さをもって使うべきだ。保育士も私立幼稚園教師も共に大切にして、健全な子どもの育成を目指す野田市であってほしい。

⇒保育士等の処遇改善は、保育士の不足で、全国的に待機児童が発生したことから、解消のため国や県が補助制度を創設したもので、野田市としても、特に低年齢（0～2歳児）の待機児童解消という喫緊の課題に対応したものです。

なお、県の私学助成の経常費補助に含まれる私立幼稚園人材確保事業は、県の保育士処遇改善事業に比べ補助額が少ないことから、県に対し私立幼稚園人材確保事業の拡充を求めてまいります。

○菊地委員

コロナ禍により進捗が滞っていることに心が痛みます。スマホ、パソコン等の活用により進捗できるものもあると思います。今後LINEやZOOM等を活用し、更なる利便性を求めたいと思いました。

⇒コロナ禍の影響から子ども館等の施設が休館となり対面による事業ができない期間がありました。パソコン等の活用については、この間、ホームページ等を活用し子育て情報を配信するとともに、YouTubeを用いて簡単な工作やゲーム遊び、人形劇等の動画

を配信し、ご家庭で楽しめる子育て支援に取り組んできました。ご意見のLINEやZOOM等の活用については、引き続き、「にじいろnaviLINE公式アカウント」を活用した子育て情報を発信し充実を図ってまいります。また、ZOOMの活用は、利用者側の環境整備が必要なこともありますので、先進地での取組状況を研究してまいります。

○菊地委員

（特別な支援が必要な子どもに対する配置の）数字が未確定のため、必要人員が不明なのが気になりました。具体的な数字が必要です。

⇒本年9月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、保育所において医療的ケア児に適切な支援を行うことが保育所設置者の責務とされています。医療的ケアの実施には、看護師の確保など、受入れを可能とするための体制整備が必要となります。今年度、公立保育所では新たに常勤看護師を確保できたところであり、導尿や経管栄養などの医療的ケアの実地研修を行い、円滑な受入れができるよう取り組んでいるところです。

数値については、現在は、医療的ケアが必要な子ども利用がないため、数値をお示しすることはできません。

しかし、現在、障がい児等特別な支援として、身体障害者手帳等の有無に関わらず障がいを有する疑いがあり配慮が必要な場合には、保育士を加配して保育の支援を行っております。この加配保育士の状況につき

ましては、実績を掲載してまいります。

○福井委員

休日保育・延長保育は保護者の要望によるものでしょうが、子どもにとってはいかななものかと思われました。

⇒休日保育・延長保育につきましては、通常の保育時間内では、勤務時間、通勤時間などの事情で保育時間内にお迎えができない、あるいは休日に保育が必要となった場合に利用するものであり、就労者などを支える制度として必要があるものと考えています。

○福井委員

子育て支援センターや子育てサロン、サークル活動のニーズが多く、親子の交流や情報交換の場を充実させていけると良いと思われました。

⇒市内には親子の交流や情報交換を行う施設として、子ども館（児童館）6か所、子育て支援センターや子育てサロンなどの地域子育て支援拠点が8か所の計14か所あります。

現在、令和4年7月末のオープンを目指し、新しい児童センター（児童館）の建設を清水地先で進めています。今後も民間事業者と連携し、親子の交流や情報交換の場の充実に努めてまいります。

【その他感想等】

特になし

議題3 野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン第4次改訂版の進捗状況について

報告を受ける。

【委員からの意見】

○福井委員

行政の細やかな支援体制が整備されていますが、今後も地域の見守りや情報提供、各支援団体の協力が求められていくと思います。

⇒地域の見守りや情報提供、各支援団体の協力については、引き続き、母子・父子自立支援員と主任児童委員による個別同行訪問を通じた見守りや、母子・父子自立支援員による情報の提供や相談などの事業により充実を図ってまいります。

【その他感想等】

○菊地委員

以前より施政が充実していることを見て市政が努力されていることが分かりました。ありがとうございました。

議題4 子ども館整備の進捗状況について

報告を受ける。

【委員からの意見】

○菊地委員

地図上で確認したところ、かなり奥まった場所にあ

り場所的に分かりにくいと感じました。場所の周知と近隣の方々に交通や騒音（私は生活音だと思いますが）の理解等が必要だと思います。

⇒建設場所については、清水公園の豊かな自然や総合体育館等の恵まれた施設との相乗効果が見込めることや、清水公園駅西口から西に真っ直ぐ延びる道路に面した分かりやすい場所で、駅から約700mと利便性も良いことから、当該位置を選定しています。場所の周知については、オープン時期を踏まえて、市報やホームページ等で周知するとともに子どもたちにも周知してまいります。交通や騒音等の近隣へ影響については、近隣住民等を対象に事業説明会を開催し、交通や騒音等の対策について説明し御理解を頂いています。

【その他感想等】

○福井委員

屋内の施設が十分整備され、充実していると感じました。特に乳幼児の保護者にとって安心して利用できるように思います。

議題5 待機児童・保留者解消野田市計画と保育量について

報告を受ける。

【委員からの意見】

○菊地委員

処遇加算に伴う研修に関する記述が少なく、要件

にある研修の内容等の記述が必要。また発達障がい・グレーゾーンの子たちに関する補助事業に関し具体的な専門知識や研修等の実施が行われているかなどの検証が必要だと考えます。

⇒処遇改善加算の職員のキャリアアップ（研修）については、職員の技能・経験の向上に応じた追加的な賃金の改善に要する費用を支給するために、平成29年度に創設された処遇改善等加算Ⅱの賃金改善対象者が、一定の研修を修了する必要があるとするもので、令和5年度から適用することが予定されているものです。研修の内容としては、①乳児保育、②幼児教育、③障害児保育、④食物・アレルギー対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援、⑦マネジメントであり、研修修了の認定は、研修主体（都道府県が指定）が行い、市は加算申請等の審査に当たっては、修了証等により実施を確認することとなる予定です。今後は、このような研修に関する記述を増やしてまいります。

また、発達障がい・グレーゾーンの子たちに関する補助事業に関する具体的な専門知識や研修等の実施が行われているかの検証につきましては、保育課の巡回チーム（看護師などで構成）を、加配したクラスに派遣し、クラス運営の状況を確認しておりますので、その中で研修の実施状況等も確認し、必要に応じて研修の受講を促してまいります。

○古橋委員

定員の確保は将来的に過剰となる可能性が高いこと

になります。今後の傾向（待機児童・保留者）について知りたい。

⇒待機児童・保留者におきましては、年度当初に比べ年度末に向け増える傾向にあり、特に2歳児未満児の待機児童・保留者が多くなっております。

児童数は減少傾向にありますが、無償化の影響や女性の就業率の向上により、児童数に対する就園児童数の割合は年々高くなってきており、今後数年間の保育需要は若干増加していくものと考えております。そのため、2歳未満児に対応する新たな施設を整備して保育の量の確保を図るとともに、定員の弾力化により受入れ児童を増やすことや、保留者については、単願や転園機希望者が多数を占めることから、他の保育所をあっせんするなど保護者と保育所のマッチングに取り組むことで、待機児童・保留者の更なる縮小に取り組んでまいります。

○古橋委員

子どもの数が今後減少することが想定されるが、こうした動向からくる児童福祉の諸政策、幼稚園、保育所、認定こども園の教育・経営への影響について、今後10年の見通しを立てながら検討することが重要だと考える。

⇒保育所、幼稚園等のあり方につきましては、中長期的な視点を踏まえながら検討していく方針としています。無償化の影響や保育需要の動向を精査しながら検討してまいります。

○福井委員

保育量の増減は大きな変化は見られず、入所希望についてもほぼ満たされていると思います。保育士確保については更なる検討が必要と思います。

⇒保育士確保の取組として、平成28年度から保育士合同就職説明会を開催するほか、県事業を活用した賃金の上乗せを行う処遇改善事業を実施してまいりました。

また、その他、保育士の子どもの優先入所などの取組に加え、令和元年度からは、保育士として勤務することとなった方に対する就労奨励金の支給事業等を実施し、保育士確保事業の充実に努めております。なお、合同就職説明会による保育士確保数は、平成28年度から令和2年度までの5年間で28人となっており、一定の成果は見られるものの、より一層の確保に繋げられるよう実施方法や周知方法について検討していくとともに、新たな方策についても併せて検討してまいります。

【その他感想等】

特になし

議題6 子どもの安心生活推進委員会及び子ども家庭総合支援拠点機能充実専門委員の設置について
報告を受ける。

【委員からの意見】

○菊地委員

虐待が再度あった際のセーフティガードとしての役割を担っている機関だと思います。文書だけでは読み取れませんが緊急時（再び大きな虐待事件）にどのような形で行われるか具体的に知りたいと思いました。

⇒子どもの安心生活推進委員会は、平成31年1月24日に発生した児童虐待に関する悲惨な事件を防止することができなかった問題点を徹底的に検証し、児童虐待に関する事件の再発防止に関し必要な事項を調査審議するために設置した野田市児童虐待事件再発防止合同委員会における調査審議が、一定の成果が得られたことから終了となりましたが、児童相談所以外の関係機関との児童虐待防止対応マニュアルの策定や虐待防止条例の制定等の課題が残っており、内部組織で再発防止策を講じていくために立ち上げたものです。

野田市子ども家庭総合支援拠点機能充実専門委員会は、児童福祉法第10条の2の規定に基づき設置した、野田市子ども家庭総合支援拠点の機能の充実を図るため、野田市児童虐待事件再発防止合同委員会の外部委員を専門委員として委嘱したもので、令和2年度には、①野田市児童虐待防止対応マニュアル（学校編）、②野田市児童虐待防止対応マニュアル（保育所・幼稚園・学童保育所編）、③事件の風化を防ぐための検討につき、御意見を頂いております。

通告時の対応につきましては、児童虐待に関する情報提供等があった場合には、48時間以内に子どもを目視により直接確認することとされておりますが、野田市においては原則当日に行うこととし、必要に応じ

児童相談所の職員の同行、同席を依頼します。
また、緊急を要する虐待や犯罪被害の対応に当たっては、児童の安全確保を最優先にし、他に優先する手段を取る明確な理由がない場合、直ちに立入調査・一時保護を柏児童相談所に依頼し、又は身柄付き送致を警察署に要請します。

【その他感想等】

○山田委員

資料2、事業番号141（抜粋）、児童虐待相談受付件数466件、進行管理件数（延べ人数）711人、コロナ禍や自然災害などで生きていくことに余裕がない大人が多い昨今で、この数字の中にどれだけの子どもたちが今も苦しく辛い思いをしているのかと考えるだけで胸が痛みます。この中に未来に絶望している子どもが一人でもいるならば、今回設置されたプロの組織がそのような子どもの「最後まで味方でいてくれる存在」であろうことを一市民として期待いたします。

○福井委員

新たな委員会と専門委員会の設置は今後子どもの安心・安全な生活の保障につながっていくと思います。

議題7 コロナ禍における子育て世帯に対する市独自の給付金について
報告を受ける。

【委員からの意見】

特になし

【その他感想等】

○菊地委員

とても良い施策だと思います。

議題 8 保育施設の確認にかかる利用定員の設定・変更について

承認する	承認しない	未回答
19名	0名	1名

上記の結果から、原案のとおり承認とする。

【委員からの意見】

○福井委員

0、1、2歳児入所希望者のニーズが増加している中で定員数の設定や変更柔軟に対応していくことが望ましいと思います。

⇒定員につきましては、定員の120%以内での弾力的活用が認められていますので、この制度を積極的に活用し、場合によっては、適切な定員数への変更も検討してまいります。

【その他感想等】

○菊地委員

会議がコロナのため中止になったことを残念に思います。会議内なら分かったことも文書のためどうしても不明瞭なのは仕方ありませんが疑問に思ったことを具体的に伺えなかったのが少し残念です。次のときに伺えれば幸いです。私もそれまでに話合いに参加でき

	<p>るよう学び、お手伝いできれば嬉しいです。御尽力ありがとうございました。</p> <p>○茂木委員</p> <p>お互いに変な仕事ですが、子どもたちが安全に健全に成長するようがんばりましょう。今後ともよろしくお願ひします。</p>
--	---